

浅虫てつがく対話

話す・聞く・考える。いつもの世界がちがって見える。

「浅虫てつがく対話」は、世界の多くの場所でおこなわれている〈哲学カフェ〉や〈子どものための哲学(P4C)〉を背景にしたワークショップです。他者とともに言葉を交わし、ひとつの問いを考える、そうした“対話の場所”をつくります。いつもは気がつかない大切な問い、ふだんは問わずに通り過ぎてきたあれこれのことを一緒にじっくり考えてみましょう。

とくべつな知識は必要ありません。考えること、話すことを楽しもう！子どものころに目覚めた探究心や発見の面白さは、大人になってからもずっと残りつづけます。そして、最初は“だれもがみな子ども”でした。“行き交う場所”に、言葉が生じます。青森のランドマーク浅虫に、他者と出会い、言葉を交わし、ともに考える、子どもと大人のワークショップを開設します。

秋の部

ゲスト 加藤 寛さん(あおもり創生パートナーズ)

秋はどんな季節かな？対話(たいわ)するって、むずかしい？

てつがく対話の入門です。とくべつな知識は必要ありません。対話の技法、他者との対話を深める方法について、ゲストスピーカーの加藤寛さんとともに考えます。休憩をはさみ、後半は、秋の季節をモチーフとして連想することからはじめます。ハロウィン、かぼちゃ、収穫、働くこと、食べること、生きること、遊ぶこと、大人と子ども、などなど。みんなで一つのテーマを決めて、一緒に対話の実践をおこないます。

冬の部

ゲスト 棟方 香吏さん(童話作家)

冬はどんな季節かな？問いかけるって、どうすればいいの？

冬の季節をモチーフとして連想することからはじめます。雪、ストーブ、てぶくろ、クリスマス、仕事納め、休暇、大人と子ども、などなど。ともに対話の場所をつくること、問いをつくる方法について、言葉を交わす実践をとおして考えます。休憩をはさみ、後半は、一冊の絵本の問いかけを紹介します。ゲストスピーカーの棟方香吏さんと一緒に、クリスマスやサンタクロースをめぐる哲学対話を実践してみましょう。

10/15 日 13:00 - 16:00 申込締切 10/10(火)

12/9 土 13:00 - 16:00 申込締切 12/4(月)

【会場】道の駅「浅虫温泉 ゆ～さ浅虫」4階会議室 講師：青森公立大学 准教授 大森 史博

参加無料

•水分補給のため、水筒やペットボトルの飲み物を持参してください。•イスの配置や片付けに、ご協力ください。

[対象] 子どもから大人まで(小学生以上・低学年の方は保護者参加必須) [定員] 各回20名程度 先着順

申込方法 kouza2023@b.nebuta.ac.jp 宛にメールを送信

件名:浅虫てつがく対話申込 本文:氏名(ふりがな)・職業または学校名(学年)・住所・電話番号

※お申込みの方に受講の可否をメールまたは電話で連絡します。

※お申込みいただいた個人情報は、今回の公開講座に関する目的以外での使用並びに第三者への提供は行いません。

主催／青森公立大学 <https://www.nebuta.ac.jp>
共催／浅虫まちづくり協議会

お問い合わせ 青森公立大学地域連携センター
TEL 017-764-1589(平日8:30～17:00)

青森公立大学 公開講座

検索

